

富士市土木技術職員人材育成計画

令和6年2月



富士山とともに 輝く未来を拓くまち
SDGs 未来都市 富士市



日本一高い富士山と日本一深い駿河湾に抱かれる本市は、温暖な気候や東西交通の要衝という地理的条件、豊富な地下水や美しく雄大な景観などの富士山の恵みを活かし、多様な産業が集積する都市として発展してきました。

しかし近年は、加速する少子高齢化や若者の転出超過、激甚化する自然災害などを背景として、本市を取り巻く環境は厳しい状況へと変化していることから、市職員には、着実に地域課題の解決に努めながらも、SDGs 未来都市として、将来を見据えたまちづくりを推し進めていくことが求められています。

その一方で、本市のインフラを支える土木技術職員は、土木業界全体の人手不足と同様に、若手職員の採用希望者は減少傾向にあり、社会資本の担い手となる人材の安定的な確保及び早期育成に向け、持続可能な体制を構築することが喫緊の課題となっています。

また、土木技術職員は、市民一人ひとりが活力に満ち、生きがいを持って暮らしていけるよう、地域の守り手として、安全・安心な都市づくりを推進するため、技術力を日々研鑽するとともに、次の時代にその知識と技術を継承していかなければなりません。

本計画は、令和4年4月に改定した「富士市人材育成基本方針」に基づき、持続可能な土木行政を目指すため、土木技術職員で組織したプロジェクトチーム（SDT f サステナブル・ドボク・チーム・フジ）が中心となり策定しました。

本計画に掲げた、土木技術職員の人材育成に向けた取組を通して、職員一人ひとりが技術力に磨きをかけ、新たな時代に適応しつつ、本市を持続可能な都市として発展させていくことを期待しています。



令和6年2月

富士市長 小長井義正

目 次

(第1部)

1	富士市土木技術職員人材育成計画とは	P4
2	計画の策定にあたって考慮すべき事項	P6
3	目指すべき土木技術職員像	P7
4	土木技術職員に求められる役割と能力	P8
5	業務遂行に必要な能力の習得に向けた各ステージ別の到達目標	P10
6	人材育成メニュー	P12

(第2部)

7	富士市の土木技術職員が活躍する多様なフィールド	P16
8	若手土木技術職員の人と仕事	P19
9	中堅土木技術職員の人と仕事	P26
10	ベテラン土木技術職員の人と仕事	P30

(巻末)

11	持続可能な富士市土木行政に向けた検討会 (S D T f)	P34
-----------	-------------------------------	------------

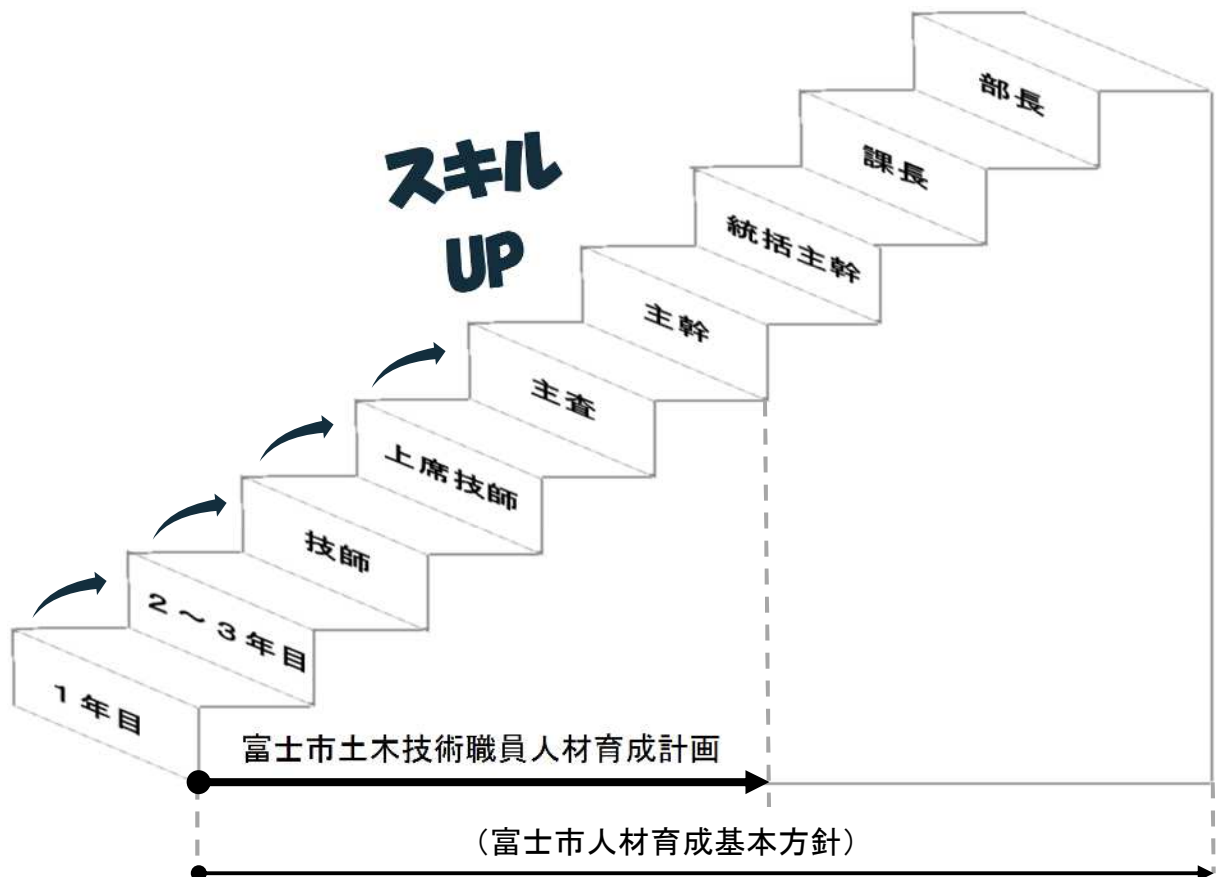
1

富士市土木技術職員人材育成計画とは

本市では、市を取り巻く社会環境の変化や国の地方公務員制度改革等を踏まえた上で、職員に求められる役割・能力・志向を示し、「目指すべき職員像」への道しるべとして人材育成の方向性と取り組むべき施策を明らかにした「富士市人材育成基本方針」*を令和4年4月に改定しました。

同方針は全職員を対象としていますが、本市においては、土木技術職員の人材確保が厳しい状況にあるなど、社会資本の担い手・地域の守り手の育成が急務となっており、持続可能な土木行政の体制を確保することが課題であることから、同方針に基づき、より専門的な内容を盛り込んだ「富士市土木技術職員人材育成計画」を策定しました。

本計画は、目指すべき土木技術職員像を掲げ、職員に求められる役割を明確にした上で、採用1年目の職員から、専門知識と高度な技術を併せ持ち現場の最前線での活躍が期待される主査職までの職員を対象に5つのステージに分類し、各ステージにおいて求められる業務遂行能力を効率的かつ効果的に身につけ、段階的にスキルアップが図れるよう体系的にまとめています。



※ 富士市人材育成基本方針

詳細は、市ホームページをご覧ください。





基づく

富士市土木技術職員人材育成計画（R6.2月）

目指すべき土木技術職員像

土木技術職員に求められる役割を理解し、
各ステージに応じた能力を身につける

3つの人材育成メニュー

(1)

研修による
育成支援

- 人事課主催『専門研修』
- 人事課主催『通常研修』
- 外部機関主催『派遣研修』

(2)

資格取得に
向けた支援

- 2級土木施工管理技士補
(1~3年目)
- 1・2級土木施工管理技士等
(4年目以降)

(3)

職場環境・
人的な育成支援

- メンター制度
- サポーター制度
- 職場指導・現場指導

2

計画の策定にあたって考慮すべき事項

(1) 持続的に発展するまちづくりの推進

本市のめざす都市像である「富士山とともに 輝く未来を拓くまち ふじ」を実現するために、インフラの整備・維持管理・更新についても、SDGsの理念のもと、DX（デジタルトランスフォーメーション）やGX（グリーントランスフォーメーション）に考慮し、変化する時代においても持続的に発展するまちづくりを推進していくことが必要となっています。

(2) 土木技術職員の減少

生産年齢人口の減少等により、土木業界は慢性的な人手不足が続いており、本市においても、人材確保は厳しい状況にあります。そのため、若手の土木技術職員を確保するとともに、技術力を維持・継承していく取組が必要となっています。

(3) 土木費の減少

1970年代から1980年代にかけて集中的に予算を投じ公共施設を整備してきましたが、バブル崩壊を契機とし1990年頃をピークに土木関連予算は年々減少傾向にあります。

今後も社会保障費の増加が見込まれる一方で、老朽化する公共建築物や土木系インフラの更新・維持管理にも多額の費用を要することから、公共事業を効率的にマネジメントしていくことが必要となっています。

(4) 南海トラフ地震や自然災害への対応

近い将来、静岡県を含む太平洋沿岸の広い地域では南海トラフ地震の発生が予測されています。また、近年多発する線状降水帯による豪雨被害など、自然災害は激甚化しています。そのため、国土を強靱化するインフラの整備が強く求められているとともに、災害時には組織的かつ的確な対応が必要となっています。

(5) 多様化する市民ニーズへの対応

現場の最前線では、毎日市民から数多くの声が寄せられており、その要望に対しては専門的な知識のほか、スピード感を持った丁寧な対応が求められています。そのため、多様化する市民ニーズに対し、傾聴し理解・判断する力、説明や説得する力といった、一連のコミュニケーション能力を身に付けることが必要となっています。

3

目指すべき土木技術職員像

職員は、「富士市人材育成基本方針」で掲げた「目指すべき職員像」を念頭に置いて行動することとしていますが、土木技術職においては、持続可能な土木行政を担う職員の育成が重要で、土木技術職全体の更なる能力開発が不可欠となっていることから、より具体化した「目指すべき土木技術職員像」を次のように定めます。

《富士市人材育成基本方針》

～目指すべき職員像～

輝く未来を拓くため、自らの使命を胸に、

情熱をもって、果敢に行動する職員

《富士市土木技術職員人材育成計画》

～目指すべき土木技術職員像～

(S) 社会基盤の担い手として

(D) 土木技術を日々探究する

(T) 常に向上心を持ったエンジニア

(f) 富士市土木技術職員

本計画は、S D T f (サステナブルドボクチームフジ) *が中心となり策定しました。

※ 持続可能な富士市土木行政に向けた検討会

4 土木技術職員に求められる役割と能力

目指すべき土木技術職員像を実現するためには、まず、土木技術職員に求められる役割を十分理解した上で、各ステージ^{*1}に応じて必要となる能力を身につけていくことが大切です。

土木技術職員に求められる役割については、職員行動指針の5つの志向に照らし、次のとおり定めます。

プロ志向

土木の専門家として、未来を見据えたまちづくりに、真摯に取り組むこと

市民志向

市民ニーズに応え、住んで良かったと実感できる社会基盤を整備すること

チーム志向

土木職の技術と知識を結集し、オール富士市で課題解決に当たること

経営志向

持続可能な都市経営を目指して、費用対効果を強く意識し、インフラを整備・管理すること

成長志向

目的意識をしっかりと持ち、土木技術を日々探究すること

また、土木技術職員は、行政職員として備えておくべき一般的な知識や能力に加え、業務を遂行する上で必要となる土木技術職員特有の能力^{*2}を身につけ、発揮していくことが求められます。

業務遂行に必要な能力の習得に向けた各ステージ別の到達目標をP10, 11に示します。

※1 各ステージ

1年目、2～3年目、技師、上席技師、主査の5つ

注) 主幹以上の職位は、ポスト職であるため、管理監督職として必要になるマネジメント能力等については、階層別研修や選択研修において習得するものとし、本計画には盛り込んではいない。

※2 土木技術職員特有の能力

詳細はP9参照

土木技術職員特有の能力

分 類	内 容
基本 	技術関係各課の業務概要を理解するとともに、土木の基本的な知識を習得し活用することができる
予算 	予算編成の流れや仕組みを理解した上で、必要な予算を確保するため、市の単独予算や交付金等の要求資料を作成することができる
準備・調整 	業務全体の把握から、クリティカルパスを特定し、事前の準備や調整を十分に行うことができる
設計 積算 	根拠を理解するとともに、現場条件に即した設計・積算を行うことができる
施工 管理 	工程・品質・安全管理等について、適正に指導・監督ができるとともに、現場での違和感を察し、対処することができる
維持 管理 	必要性と優先順位を的確に判断することで、計画的に最適な修繕を行うことができる
計画 策定 	長期的な視点で社会的ニーズを捉え、市民参画等のプロセスを得た上で、魅力あるまちづくりを推進するための計画を策定することができる
審査・ 指導 	関係法令等を理解・遵守し、適正な判断、毅然とした対応を行うことができる
市民 対応 	市民目線で真摯に話を伺い、専門用語を使わないわかりやすい説明で、理解を得ることができる
業者 対応 	信頼関係の構築と、素早いキャッチボールにより、事業のスムーズな進行に努めることができる
危機 管理 	常にアンテナを高く持ち、事前の予測や準備、事後の臨機応変な対応をとることができる。
育成 	年齢にとらわれず知識・技術を広く共有し、互いを認め、高め合うことができる

5

業務遂行に必要な能力の習得に向けた各ステージ別の到達目標

ステージ	No.	業務遂行に必要な能力の習得に向けた各ステージ別の到達目標
1年目	1	担当する業務が総合計画のどの分野に該当するか理解している
	2	技術関係各課の業務概要を理解している
	3	担当する事業の目的を理解している
	4	富士市の地名や道路、河川、主要施設等の名称を検索できるスキルを持っている
	5	測量に必要な手順や方法を理解している
	6	公共事業の流れを把握している
	7	入札制度・契約制度を把握している
	8	担当する仕事の基本的な図面を読むことができる
	9	CADの機能を理解し、使用することができる
	10	積算基準書の役割を理解している
	11	積算ソフトの操作方法を理解している
	12	共通仕様書の役割を理解している
	13	出来形や品質管理基準を基準書から引用することができる
	14	修繕の必要性を判断することができる
	15	都市計画マスタープラン等の土木行政に係る上位計画を知っている
	16	苦情や要望に対し、真摯に対応することができる
	17	受注者からの問い合わせに対し、ワンデーレスポンスに努め、現場をスムーズに進行することができる
	18	日々のコミュニケーションから、受注者と信頼関係を築くことができる
2年目 ～ 3年目	19	土木の専門用語を把握している
	20	土木で使用する機械を知っている
	21	工事に使用する基本的な材料に関する知識がある
	22	打合せ等の報告書や議事録を作成することができる
	23	予算編成の流れや仕組みの概要を知っている
	24	事業の関係者（国や県、地元住民等）を把握している
	25	CADの機能を駆使し、発注図面を作成することができる
	26	積算ソフトを使い、設計書を作成することができる
	27	必要事項を特記仕様書に定めることができる
	28	施工計画書に記載すべき必要項目を理解している
	29	施工計画書が、設計図書の内容及び現場条件を反映しているかチェックすることができる
	30	出来形や品質管理基準に基づいた施工管理を行い、受注者への助言や指導をすることができる
	31	工事に必要な関係法令を把握している
	32	安全管理のために必要となる基本事項を理解している
	33	市民の理解が得られるように、専門用語を使わず市民の目線で説明することができる
技師	34	事業の関係者（国や県、地元住民等）と調整を行うことができる
	35	事業に関し、事前の情報収集・段取りを十分に行うことができる
	36	見積りの取り方・単価の採用方法を理解し、設計書に反映することができる
	37	積算基準書に書かれている内容を理解し、根拠や現場条件に基づいた設計・積算をすることができる
	38	契約約款の記載内容を理解している
	39	設計内容との相違等、現場での違和感を察し、受注者に適切な指示をすることができる
	40	所属が該当する総合計画や都市計画マスタープランへの記載内容を理解し、役割や相互の関係を理解している
	41	豪雨等の予測情報を収集し、事前の準備や対策を行うことができる
	42	事業を完遂させるためのクリティカルパスを特定し、スケジュールが立てることができる
上席技師	43	優先順位を的確に判断し、計画的かつ効率的な維持管理を行うことができる
	44	都市計画マスタープランや道路整備プログラムなどの計画を策定する際に必要なプロセスを把握している
	45	不当な要求に対して毅然とした対応をとることができる
	46	想定外の災害が起こった際にも、冷静に臨機応変な対応をとることができる
	47	業務を進める上での留意点等を先輩職員に伝え、引き継ぐことができる
	48	新しい技術や法令に基づく基準の改正など、習得した知識を広く共有することができる
主査	49	予算や交付金等の要求資料を作成することができる
	50	ライフサイクルコストを考慮した適切な修繕工法を選択することができる
	51	説明会等で使用する資料を作成し、プレゼンテーションを行うことができる
	52	関係法令を理解・遵守し、適正に判断することができる
	53	市民の声や問い合わせフォームなど、所属としての回答を作成することができる

業務遂行に必要な能力は、人事課が主催する階層別研修などの通常研修のほか、各職場での業務を通じて指導育成するOJTや外部機関への派遣研修、さらには職員自らが主体的に取り組む自己啓発により習得していくことを目指します。

(1) 研修による育成支援

■人事課主催『専門研修』（1年目～3年目）

土木技術職の先輩職員が講師を務め、土木の基本的な知識や技術に加え、業務上必須となる機器の操作方法など実務的な研修を実施します。また、各部署の役割や所管する事業内容、今後の展望や課題事項など、幅広い知識を習得できる機会を提供します。

これにより、本市土木行政の全体像を捉えるとともに、土木技術職員として理解すべき基本知識や安定した技術力の早期習得を図り、設計・積算などの発注業務や現場・窓口における基本的な対応などを独力で遂行できる人材を育成します。

■人事課主催『通常研修』（1年目～主査）

土木技術職員は、専門分野の知識や技術を高めることに加え、一般行政職員と同様に、地方公務員法や行政手続法などの法令遵守に関すること、政策決定や予算編成などの施策遂行に関すること、業務を円滑に遂行するための対人関係に関することなどの知識を習得する必要があります。

さらに、市の重点課題である「SDGsの達成」と「脱炭素社会の実現」に向けた取組を推進するための知識も求められるため、一般行政職や他の専門職と合同で実施する必修研修や階層別研修等において、計画的に提供し習得を図ります。

■外部機関主催『派遣研修』（1年目～主査）

外部機関が実施する研修は、ニーズに即したメニューが多彩であり、専門的な知識や技術を短時間で集中的に学べるという利点に加え、他自治体職員と交流することで、客観的に自身の業務や組織を見つめ直す機会となり、意識向上にも繋がります。

また、国が進める「i-Construction」の取組を中核としたインフラ分野のDXについても、ICTを活用した最新技術等を学ぶことにより、業務効率の向上や働き方改革のヒントを得ることが期待できます。

実務経験が浅い若手職員については、県が実施する研修への派遣等を通し、職員一人ひとりの知識や技術の向上と経験の蓄積を図ります。

また、中堅職員については、国や民間事業者が実施する専門性が高い研修への計画的・継続的な派遣を行い、専門的スキルの向上や視野の拡大、意識改革を図るとともに、その習得した知識や考え方を庁内で展開することで、組織全体の底上げを図ります。

研修による育成支援

採用1年目～3年目職員の研修計画

(※研修計画における内容や時期は随時見直します)

	種別	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
1年目	専門	<ul style="list-style-type: none"> 富士市土木の職場研修 (各課の事業概要説明、現場見学など) 先輩職員との座談会 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な材料に関する研修 図面の読み方研修 CAD操作研修 GIS操作研修 土地の調べ方 設計業務の基準 (歩掛・数量基準など) 設計書作成から検査、完成までの流れ スマイルズの操作方法など 	<ul style="list-style-type: none"> 共通仕様書、基準書等に関する研修 工事書類のチェックポイント研修 出来形測定研修 契約・品質管理・検査のチェックポイント研修 公共工事の監督・工事成績評価の研修 	
	通常	<ul style="list-style-type: none"> 新規採用職員研修(第1部) 		<ul style="list-style-type: none"> 新規採用職員研修(第2部) 建設施工技術講習会 	<ul style="list-style-type: none"> 新規採用職員研修(第3部)
	派遣	<ul style="list-style-type: none"> 採用1年目研修 	<ul style="list-style-type: none"> 土木施工管理(基礎コース1) 		
2年目	専門	<ul style="list-style-type: none"> 先輩職員との座談会 	<ul style="list-style-type: none"> 施工方法見学(アスファルト舗設など) 道路の補修方法 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時復旧対策、安全対策 	
	通常	<ul style="list-style-type: none"> 1stステージ必修A研修 	<ul style="list-style-type: none"> 1stステージ必修B研修 	<ul style="list-style-type: none"> 建設施工技術講習会 	
	派遣	<ul style="list-style-type: none"> 採用2年目研修 若手建設技術者のための施工技術の基礎 	<ul style="list-style-type: none"> 土木施工管理 		
3年目	専門	<ul style="list-style-type: none"> 先輩職員との座談会 			
	通常			<ul style="list-style-type: none"> 建設施工技術講習会 	
	派遣	<ul style="list-style-type: none"> 採用3年目研修 土木工事積算研修 	<ul style="list-style-type: none"> 若手職員のための建設工事のポイント 	<ul style="list-style-type: none"> 各部署で必要となる専門研修 	

4年目以降職員の研修計画

- ◆外部機関が実施する専門性の高い研修への派遣(国土交通大学校など)
- ◆官公庁や各種団体が実施する専門的な知識や高度な技術の習得のための研修への派遣
- ◆市役所他部署、市内建設業界との情報交換会の実施

(2) 資格取得に向けた支援

土木技術職としての経験値に加え、多様な資格を有していることは、設計・積算のほか、現場における監督業務や事業者への審査・指導など、さまざまな場面でその知識を活用することができ、事業者や市民からの信頼確保に繋がります。

また、資格取得により、幅広い職務を担当する機会が生まれるなど、自身のキャリア形成にも繋がります。

■ 1年目から3年目までの職員：2級土木施工管理技士補〈取得必須〉

実務経験が浅い土木技術職員は、資格取得によって専門的な業務に関する知識や技術を習得し、業務範囲を拡大することができます。また、技術力を担保する客観的な基準として資格を取得することで、自己信頼感を高め、仕事への情熱やモチベーションを強化することができます。

■ 4年目以降の職員：1級・2級土木施工管理技士等の上位資格〈取得推奨〉

実務の中心となる4年目以降の職員にとって資格取得は、自身の専門知識やスキルをより深化させることができるとともに、他の職員への助言や指導を行うなどリーダーシップの発揮にも繋がります。

また、自身の能力や専門性を証明する一つ的手段となるため、受注者への的確な指導や市民への根拠を示した説明などの対応を通し、信頼を得られると同時に、専門職としての自己肯定感を高めることが期待できます。

■ 資格取得を推進する取組

資格取得は自己啓発の一環として非常に有益で、自己成長や専門知識の習得に繋がるとともに、自身のキャリア形成にも大きく寄与しますが、時間や労力に加えて、教材や受験料などの費用面での負担が発生します。

そこで、1年目から3年目までの職員については、2級土木施工管理技士補の取得を必須としていることから、学習時間の確保や受験に要する経費等の支援を行います。

また、さらに上位の資格取得を目指す職員についても、所属全体で、取得に向け集中できる環境や、相談・助言を行う体制を整備するなど積極的な支援を行います。

技術力を担保する客観的な基準として、業務遂行上有用と認められる資格取得を支援

経験年数	資格名		支援内容
1年目～3年目	必須	2級土木施工管理技士補	受験料・旅費、学習環境（テキスト等）の確保
4年目以降	推奨	1級・2級土木施工管理技士 他	資格取得等助成金にて支援

(3) 職場環境・人的な育成支援

■メンター制度による支援

採用1年目の職員においてはメンター制度を実施し、同じ職場の先輩職員が、日常業務等を通じてマンツーマンの指導を行い、知識や技術の習得に加え、職場における役割や取り組み姿勢などの理解促進を図ります。

また、管理監督職を含め全職員にメンター制度の浸透を図り、職場全体でメンターの支援及びメンティの育成を実施する体制を整備します。

■サポーター制度による支援

実務経験が浅い採用2年目、3年目の職員においてはサポーター制度を実施し、同じ職場の先輩職員が、土木に関する専門知識をより高めるための継続的な指導・育成を行い、関連法規の調べ方や設計・審査業務、事業者及び市民対応など、幅広い実務的なスキルの習得を図り、早期の独り立ちを支援します。

■職場指導・現場指導による知識・技術の継承

実務経験が浅い職員が、マニュアルでは得ることのできない判断力や経験値を培うため、高い技術力や豊富な経験を持つ上司（主幹や主査など）が指導者となりOJTを実施します。

また、過去の事例や実際の経験を踏まえた知識・技術は、積み重ねるべき貴重な財産であることから、職場や職層を問わず広く共有し、次世代への継承を図ります。

職場環境・人的支援のイメージ

- 所属全体での支援体制の確立
- 統括主幹（人事評価者）によるトータル評価
- 主幹級による総合支援
- 主査職による個別支援（上司との連携）

新規採用

- 2～3年目：サポーターによる継続的な支援
- 1年目：メンターによるマンツーマン支援

7

富士市の土木技術職員が活躍する多様なフィールド

- ちょうど良い規模のまちであるため、幅広い経験が可能
- 道路・河川・公園・上下水道・都市計画・市街地整備・港湾 など
- 山（富士山）から海（駿河湾）まであり、まちの特色が多彩

河川



道路



公園



市街地再開発



土地利用



公共交通



土地区画整理

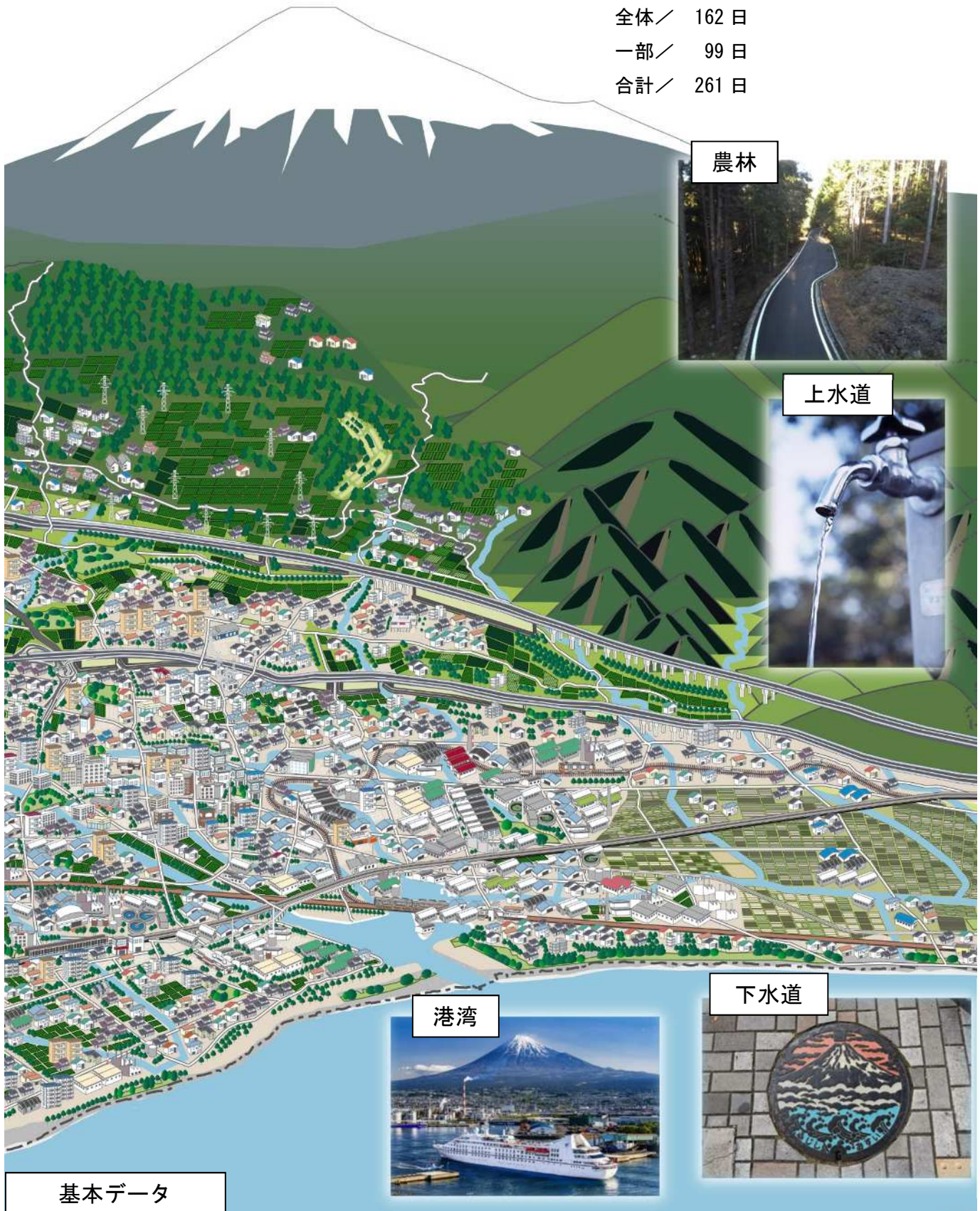


富士山の見えた日数 (R3.1~12)

全体 / 162 日

一部 / 99 日

合計 / 261 日



農林

上水道

港湾

下水道

基本データ

- 面積 244.95 km²
- 広がり 東西 23.2 km、南北 27.1 km
- 標高 最高 3,680m、最低 0m
- 道路 市道延長 1,306,620m
- 公園 183 箇所、216.19ha

富士市の概要や統計情報をもっと知りたい方はこちら『富士市ミニミニ情報』➡





次に、『若手⇒中堅⇒ベテラン』の職員を紹介するにゃ！
現職員にとってはロールモデルとして、これから入庁を
目指す人にとっては土木技術職の魅力を知るきっかけと
して活用して欲しいにゃ！！！！

富士市の未来をともに創っていくにゃ！

8 若手土木技術職員の人と仕事

INTERVIEW 01

若手職員の人と仕事

富士市役所で働く若手職員は、いま、どのような仕事や課題に取り組み、どのような生活をしているか紹介します。

職員紹介

下水道整備業務

清潔で快適な暮らしを広げる

西村 真実

上下水道部 下水道建設課
工事担当 技師補



Mami Nishimura

現在の仕事

下水道施設の一つであるマンホール、下水道管を埋設する工事に携わっています。業務内容としては、工事の設計を行い、発注した工事の品質管理や安全管理を行うため、工事現場での立会いを行うなど、状況に応じて関係機関と協議を行った上で指示出しを行っています。

やりがいを感じる時

下水道施設の大半は地中に埋まっているため、普段見ることはありませんが、下水道工事に関わることで埋設物や舗装構成を見ることができるため少し優越感に浸れます。

思い出のエピソード

大学時代、研究室で下水道管の一種であるヒューム管の研究をしていましたが、現場で使用する所を見たことがなかったため、自分の担当する工事で使うことになったときはとてもうれしい気持ちになりました。

富士市役所の好きなところ

なんといっても富士山の大きさです。私自身静岡市出身で学生時代富士山を見ながら通学していましたが、富士市に就職してから通勤する度、現場に行く度にものすごく大きな富士山がありいつも感動しています。

休日の過ごし方

旅行に行ったりしています！5連休を取得し四国旅行にも行きました。またマンホールカードを集めることも好きでその旅先ごとにカードを集めていたら1年で50枚も集まりました(^^)

みなさんへのメッセージ

私は市外出身ですが、慣れていけば自分が住んでいる町のことよりも詳しくなれると思います！

ある一日

- | | |
|-------|------------|
| 6:00 | 起床 |
| 8:30 | 勤務開始
朝礼 |
| 10:00 | 受注者と打合わせ |
| 12:00 | 昼食 |
| 13:30 | 資機材点検 |
| 16:00 | 時間休取得 |
| 17:30 | 早めの夕食 |
| 19:00 | 友人とスポーツ観戦 |
| 23:00 | 就寝 |

資機材点検・発動発電機操作



友人と四国旅行へ



INTERVIEW 02

若手職員の人と仕事

富士市役所で働く若手職員は、いま、どのような仕事や課題に取り組み、どのような生活をしているか紹介します。

職員紹介
水道整備業務

おいしい水を市民にとどける

吉田 凧沙
上下水道部 水道工務課
工務担当 技師補



Nagisa Yoshida

現在の仕事

現在は水道工務課の工務担当に所属しており、新しく水道管を布設したり、古くなった水道管を新しい水道管に布設替したりするための設計や積算、着工から竣工までの工事監督を主に行っています。

やりがいを感じる時

水道管は地中に埋めてしまうため完成後は目に見えてわかりづらいですが、布設完了後に問題なく水を供給できているときにやりがいを感じます。

思い出のエピソード

新設道路に新設管を布設する合併工事の際に、土地が整備され風景が大きく変わったことが印象深く残っています。

富士市役所の好きなところ

富士市は山や海といった自然に囲まれているため景色が良く、比較的温暖な気候のため過ごしやすい所が好きです。富士市役所の屋上から見える富士市の街並みや富士山もきれいで好きです。

休日の過ごし方

休日は友人とカフェやごはんを食べに行くことが多いです。休日が確保されているので予定が立てやすく、充実した休日を送れています。

みなさんへのメッセージ

色々悩む時期かと思いますが納得のいく就活となることを願っています。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています！

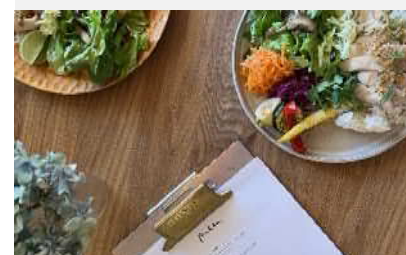
ある一日

- 7:00 起床
- 8:30 勤務開始
メールチェック
- 10:00 現場立会い
- 12:00 昼食
- 13:30 現場作業
- 16:00 設計資料作成
- 17:45 勤務終了
- 18:30 同期と夕食
- 23:00 就寝

水道管布設工事の立ち会い



休日に友人とカフェへ



INTERVIEW 03

若手職員の人と仕事

富士市役所で働く若手職員は、いま、どのような仕事や課題に取り組み、どのような生活をしているか紹介します。

職員紹介
水道整備業務

おいしい水を市民にとどける

川口 晃輝
上下水道部 水道工務課
工事担当 技師補



Koki Kawaguchi

現在の仕事

私の所属している水道工務課では、老朽化した水道管を耐震性のある新しい水道管に布設替をする工事の設計・積算・監督業務を行っています。仕事は、庁舎内での業務だけでなく、工事現場の立会や、バルブ操作など外で作業をすることも多くあります。

やりがいを感じる時

自分が設計したものを、受注者と二人三脚で現場を進めていき、完成した時です。特に水道管の口径が大きい工事や、交通量の多い場所の工事は大変ですが、その分やりがいも大きくなります。

思い出のエピソード

市民の方から「近くで火災が発生した時に怖い思いをしたので、ここに消火栓が設置されて安心できます」と声をかけられた際は、自分の仕事が確実に誰かの役に立っていると実感しました。

富士市役所の好きなおとこ

優しい先輩や上司の方が多いためです。現場で不測の事態が発生した場合でも電話での確かな指示を出して下さったり、すぐに現場に応援に来てくださいます。そのため、安心して業務をすることができます。

休日の過ごし方

休日は県内外の様々な場所へ行き気分転換をしています。また、社会人になり一人暮らしを始めたので家事全般ができるよう頑張っています。仕事とプライベートは上手く両立できる環境だと思っています。

みなさんへのメッセージ

就職活動は大変ですが、皆さんと共に富士市の未来を創っていく日が訪れることを楽しみにしています！

ある一日

- 6:30 起床
- 8:30 勤務開始
メールチェック
- 9:00 担当する工事の
設計・積算
- 12:00 昼食
- 13:30 現場作業(断水等)
- 16:00 帰宅
- 16:30 業者打合せ
- 18:00 勤務終了
- 19:30 静岡で友人と食事
- 23:00 就寝

夜間工事現場立ち合い



給水車災害派遣



休日に友人と佐久間ダムへ



INTERVIEW 04

若手職員の人と仕事

富士市役所で働く若手職員は、いま、どのような仕事や課題に取り組み、どのような生活をしているか紹介します。

職員紹介
河川管理業務

水害から市民をまもる

高田 晋太郎
建設部 河川課
維持担当 技師補



Shintaro Takada

現在の仕事

河川課維持担当の主な業務は、河川・河川管理施設の機能管理、治水事業、利水事業です。近年の異常気象から治水事業が重要視されており、洪水被害を最小限に抑え、市民の方が安心して暮らせる治水環境を維持するため、日々仕事に取り組んでいます。

やりがいを感じる時

大雨や台風などで警報が発令した際は、夜間、休日問わず参集することもあり、大変なこともあります。市民の安全を確保するために必要な仕事であり、誇りとやりがいを感じています。

思い出のエピソード

初めて工事を発注し、自ら設計したものが完成した時は達成感を感じ思い出に残っています。設計の段階では先輩や上司に助言をもらい、遅い時間まで取り組んだことが印象に残っています。

富士市役所の好きなところ

福利厚生が充実しており、互助会事業により映画やディズニーランドなどのテーマパークのチケットもお得に購入することができますので、プライベートが充実できます。

休日の過ごし方

休日は車で出かけることが多いです。同期や友達と市内をドライブしたり、テーマパークや温泉などいろいろな場所に行ったりし、気分をリフレッシュして過ごしています。

みなさんへのメッセージ

土木技術職は市民の安心安全な生活を支える、やりがいのある職業です。皆さまと一緒に働けるのを楽しみにしています。

ある一日

- 7:00 起床
- 8:30 勤務開始
テレメータシステムの確認
- 10:00 窓口・電話対応
- 12:00 昼食
- 13:30 現地調査
- 16:00 調査報告書の作成
- 17:30 退庁
- 18:00 同期とボーリング
- 20:00 夕食
- 23:00 就寝

元 富 士 樋 門 操 作



休日はテーマパークにてリフレッシュ



INTERVIEW 05

若手職員の人と仕事

富士市役所で働く若手職員は、いま、どのような仕事や課題に取り組み、どのような生活をしているか紹介します。

職員紹介
道路管理業務

安全・安心な道をまもる

望月 光輝

建設部 道路維持課
工事担当 技師補



Koki Mochizuki

現在の仕事

現在は道路維持課の工事担当に配属しており、主に工事の発注における設計・積算・監督といった一連の業務を行っています。道路の舗装や安全柵、側溝・歩道橋の修繕工事など幅広い分野を担当しています。

やりがいを感じる時

工事が完了し、完成した現場を見たときにやりがいを感じます。自分が今まで担当した仕事がかたちとして残るため、達成感を感じることができます。

思い出のエピソード

先輩職員が担当する現場への同行や、自分が担当する工事を進めていく中で、様々な知識を得ることができ、入庁当時に比べ自分自身の成長を感じることができ、嬉しく思います。

富士市役所の好きなところ

市役所は海にも近く、夏は涼しい風を感じることができるのが好きです。また、天気の良い日は職場から富士山を眺めることができるのもポイントです。

休日の過ごし方

休日は趣味に時間を費やしています。特に最近はライブに行くことが多く、社会人一年目で環境が変わったことによる疲れを発散しています。最高のサウナも探し中です。

みなさんへのメッセージ

就職活動頑張ってください！！ともに仕事ができる日を楽しみにしています。

ある一日

- 6:30 起床
- 8:30 勤務開始
メールチェック
- 10:00 受注者と打合わせ
- 12:00 昼食
同期とランチ
- 13:30 現地立ち合い
- 16:00 設計資料作成
- 17:15 勤務終了
- 18:00 スポーツジム
- 20:00 サウナ
- 23:00 就寝

道路舗装工事の立ち合い



業務終了後スポーツジムへ



INTERVIEW 06

若手職員の人と仕事

富士市役所で働く若手職員は、いま、どのような仕事や課題に取り組み、どのような生活をしているか紹介します。

職員紹介
道路管理業務

安全・安心な道をまもる

秋山 大地

建設部 道路維持課
工事担当 技師補



Daichi Akiyama

現在の仕事

道路を維持管理するための長期的な計画を立て、それに基づき傷んだ舗装を補修する工事を発注します。現場調査や測量、設計図面の作成をし、発注後は監督員として業者さんと打合せや現場立ち合いをし、工事の完成までを管理しています。

やりがいを感じる時

土木技術職が行う仕事は、成果が形として残る業務です。市民の皆さんが日々使う道路や、生活に必要な側溝や柵など、目に見える成果を出せることにとてもやりがいを感じます。

思い出のエピソード

入庁して1ヶ月程経った頃、図面を描く練習をしていた際に誤って先輩の図面を消してしまいました。コピーがあったのでよかったのですが、とても焦りました。

富士市役所の好きなところ

富士市役所周辺にはたくさんの飲食店があります。お昼に同期とランチを食べに行き、お気に入りのお店を探すのが楽しいです。

休日の過ごし方

キャンプやバーベキューをしています。富士市は富士山があり自然も多く、キャンプ場がたくさんあるので、友人と集まって盛り上がります。

みなさんへのメッセージ

興味を持った方はぜひ、富士市役所の土木技術職員として一緒に富士市のまちづくりをしましょう！

ある一日

- 7:00 起床
- 8:30 勤務開始
メールチェック
- 10:00 受注者と打合わせ
- 12:00 昼食
同期とランチ
- 13:30 現地立ち合い
- 16:00 設計資料作成
- 17:15 勤務終了
- 18:00 友人と会食
- 21:00 動画鑑賞
- 23:00 就寝

工事設計図面の作成



休日は友人とキャンプ&BBQ



INTERVIEW 07

若手職員の人と仕事

富士市役所で働く若手職員は、いま、どのような仕事や課題に取り組み、どのような生活をしているか紹介します。

職員紹介
道路管理業務

安全・安心な道をまもる

石川 正

建設部 道路維持課
調査維持担当 技師



Masashi Ishikawa

現在の仕事

市民のみなさまから道路構造物の損傷や不具合の連絡を受け、現場調査や通報者との立会いを行い、修繕方法を検討し業者へ工事を発注しています。また道路反射鏡や道路警戒標識等を設置し安全で快適に通行できる道路空間を確保しています。

やりがいを感じる時

目に見える“形”として結果が残る仕事であり、市民の方々から感謝の声を頂くこともあり、やりがいを感じています。

思い出のエピソード

町内から道路についての要望を頂いた際に、最初は双方の意見が異なり解決が困難でしたが、現場で何度も立会い話し合いを重ねた結果、より良い解決案を出すことができたことが思い出に残っています。

富士市役所の好きなところ

知識や経験豊富な先輩職員が多く、丁寧な指導や様々なアドバイスを頂けるため、自身がスキルアップでき、働きやすい職場です。

休日の過ごし方

休日は愛犬の散歩やドッグランに行きます。動物全般が好きなのでよく動物園に足を運び、様々な種類の動物とふれあっています。

みなさんへのメッセージ

富士山が見えるこの街で一緒に土木職員として働きましょう。

ある一日

- 7:30 起床
- 8:30 勤務開始
メールチェック
- 9:00 現場調査・立会い
- 12:00 昼食
- 13:00 工事発注資料作成
- 15:00 工事の積算
- 17:15 勤務終了
- 18:00 愛犬の散歩
- 19:00 夕食
- 20:00 愛犬とふれあう
- 21:00 就寝

道路パトロール



動物とふれあう休日



9 中堅土木技術職員の人と仕事

INTERVIEW 01

富士市役所の人と仕事

富士市役所で働く職員は、いま、どのような仕事や課題に取り組み、どのようなキャリアを積んでいるのかを紹介します。

職員紹介 道路整備業務

暮らしを守る富士のみちづくり

和田 尚也
建設部 道路整備課
街路担当 主査



Naoya Wada

現在の仕事

富士市の幹線道路となる都市計画道路の整備を行う部署で、用地交渉、道路の設計、積算、工事の監督を主に行っています。円滑に整備を進めるため、様々な調整を行うことも重要な仕事です。

今までの思い出のある仕事

私が、みどりの課に所属していた時、私が住んでいる地区に公園を新たに整備する計画がありました。その公園の担当となり、設計に携わったことが思い出のある仕事です。その地区に望まれている公園を設計できるよう、地元の方や、保育園、幼稚園の先生、学校の子ども会等が参加するワークショップを開催し、それぞれの意見を一つの公園にまとめ上げました。設計が終わり、最後に公園の名前が決定された時は、達成感でいっぱいになったことを覚えています。この公園は、実際に整備され供用されていますが、休日に公園に行き、地区の子どもたちを中心に様々な人で賑わっている様子を見ると、富士市職員として貢献できた実感することができます。

魅力と誇り

富士市職員が一番の魅力は自分の住んでいる富士市のために仕事ができることです。また、土木職の仕事の成果は、目に見えるものが多く、自分が整備した道路や公園等が役立っていることを、私生活を通じ実感することができます。

みなさんへのメッセージ

普段何気なく使用している道路や公園などの公共施設は、当たり前のように整備、維持管理されています。富士市民が安心・安全に暮らせるよう、これらを整えることが、土木職員の仕事です。私たちと一緒に、富士市の安心・安全に貢献しましょう。

経歴

- 入庁
2007 商工農林部 農政課
(土地改良担当 技師補)
2010 (土地改良担当 技師)
2014 建設部 建設総務課
(管理担当 技師)
2015 都市整備部 みどりの課
(公園整備担当 上席技師)
2018 建設部 道路整備課
(街路担当 上席技師)
現職
2021 建設部 道路整備課
(街路担当 主査)

きぎょうの里公園



五味島岩本線整備事業



INTERVIEW 02

富士市役所の人と仕事

富士市役所で働く職員は、いま、どのような仕事や課題に取り組み、どのようなキャリアを積んでいるのかを紹介します。

職員紹介 市街地整備業務

富士駅北口再開発～まちの顔の刷新～

望月 圭介

都市整備部 市街地整備課
まちなか整備担当 主査



Keisuke Mochizuki

現在の仕事

富士駅北口において検討中の市街地再開発事業に関わる仕事をしています。主に、再開発事業にあわせて再編する道路の設計業務や補助金交付に係る国・県との調整業務を担当しています。

今までの思い出のある仕事

港湾振興室で担当した田子の浦港の津波対策事業です。津波対策は、他のインフラ整備とは性質が異なり、人命に関わることなので、担当することになった時は、やりがい以上に責任感を重く感じました。港湾構造物の設計には、シミュレーション解析や模型実験等を用いることもあり、専門性が非常に強いので、知識が全くなかった私にとっては日々勉強の毎日でした。国・県との設計協議は数十回を超えましたが、協議がまとまり事業をレールに乗せることができた時は、大きな達成感を感じることができました。この事業をやり遂げるにあたり、他港湾への視察や大学教授のもとへ繰り返し足を運んだことは、私の大きな財産となっています。

魅力と誇り

土木技術職の仕事の魅力は、何と言っても“地図に残る仕事ができる”ことです。自分で設計・整備した道路が将来にわたって目に見える形として残るため、非常にやりがいのある仕事です。

みなさんへのメッセージ

「この道路もっと広がればいいのに」「この渋滞なんとかならないかな」「富士市にこんな〇〇を作ってほしい」という身近な課題を形として実現するのは土木職員の仕事だと思っています。課題解決に向けて一緒になって考えていきませんか？

経歴

- 入庁
- 2006 建設部 河川課
(維持担当 技師補)
(整備担当 技師)
- 2009 建設部 建設総務課
(生活道路担当 技師)
- 2014 建設部 建設総務課
(生活道路担当 技師)
- 2015 建設部 道路整備課
(生活道路担当 技師)
- 2016 建設部 道路整備課
(生活道路担当 上席技師)
- 2018 産業経済部 産業政策課
(港湾振興室 主査)
- 現職
- 2022 都市整備部 市街地整備課
(まちなか整備担当 主査)

富士駅北口周辺が、生まれ変わります



田子の浦港周辺津波対策事業



INTERVIEW 03

富士市役所の人と仕事

富士市役所で働く職員は、いま、どのような仕事や課題に取り組み、どのようなキャリアを積んでいるのかを紹介します。

職員紹介 河川計画業務

治水・利水のための河川計画

中村 至克
建設部 河川課
計画担当 主幹



Yoshikatsu Nakamura

現在の仕事

川には、田畑に水を運び作物を育て、人を豊かにする力があれば、豪雨による氾濫等で、人を苦しめる力もあります。川と上手につき合っていくために、計画から整備、維持管理につなげ、市民の皆さんが少しでも安心して暮らせることを目指しています。

今までの思い出のある仕事

林道には、森林の整備・保全・切り出しを目的とし、幹線となる林道に加え、それを補完する「林業専用道」があります。

この「林業専用道」の整備に携わり、開通後には、山林から林齢50年を超える太いヒノキが伐採され、木が搬出されている光景を見たときは、感慨深いものがありました。この木は、富士市ブランドである「富士ヒノキ」として原木市場に並び、住宅資材等として、市内外まで運ばれ、霊峰富士で育った富士ヒノキが、多くの方々に喜ばれていることと思います。

この道は、木材生産だけでなく、間伐などの森林整備にも利用され、国土の保全や水源涵養に繋がるなど、様々な機能として役立つものとなり、非常にやりがいのある業務だったと思います。

魅力と誇り

自分や家族が日常で利用する、道路などの整備に携われることに嬉しさを感じます。これは、私たちの仕事が、非常に身近で生活に関わっているからだだと思います。そして、私たちの仕事は、いろいろな人の思いを実現する仕事、実現できる仕事です。

みなさんへのメッセージ

公共工事による利益は、市民の誰もが受けることのできるサービスだと思います。だからこそ、様々な意見があり、考えがあり、事業を進めるのが大変だと思ふことがあります。それでも、毎朝、自宅を出て富士山を前にすると、今日も頑張ろうと思えるのです。

経歴

- 入庁
2007 下水道部 建設課
(工事担当 技師補)
2008 (工事担当 技師)
2010 (工事担当 上席技師)
2011 商工農林部 林政課
(林政課 上席技師)
2013 (林政課 主査)
2016 建設部 道路整備課
(幹線道路担当 主査)
現職
2021 建設部 河川課
(計画担当 主幹)

水門監視操作システム操作



林業専用道飯森線施工状況



INTERVIEW 04

富士市役所の人と仕事

富士市役所で働く職員は、いま、どのような仕事や課題に取り組み、どのようなキャリアを積んでいるのかを紹介します。

職員紹介
港湾振興業務

田子浦港の振興

小田桐 健

産業交流部 産業政策課

港湾振興室 主幹



Takeshi Odagiri

現在の仕事

田子の浦港の利活用促進、津波防災対策の推進、田子の浦港周辺のにぎわいづくり、田子の浦港への客船誘致、田子の浦港の水産振興、田子の浦しらすのPRなど、様々な産業における田子の浦港の振興業務です。

今までの思い出のある仕事

河川課時代に経験させていただいた橋梁工事です。

川幅を拡げることにより、既存の橋梁が使えなくなるため、河川課では数年に1回は橋梁工事があります。私は初めて橋梁工事を担当したのですが、現場が東海道新幹線の線路に近接しており、JR東海に日中の工事を許可していただけませんでした。新幹線が運行していない夜間に橋桁を架設しなければならず、業者と相談して念入りに施工計画を作成し、事前にJR東海に説明してから着手するなど、大変気を遣いながらの工事でした。

橋桁の架設が予定どおり進み、夜中の2時半にはすべての橋桁を架設することができ、非常にホッとしたのを覚えています。

魅力と誇り

土木の仕事は常に自然との闘いであり、工事中には様々な要因で現場が上手くいかないことがあるなど、気苦労の絶えない仕事であると思いますが、竣工した時に味わう満足感、充実感他の仕事では味わえないような魅力的な仕事であると思います。

みなさんへのメッセージ

富士市には、道路、河川、都市計画、公園、水道、下水道など様々な仕事があり、配属先によって雰囲気は違うと思いますが、どの部署にも気兼ねなく相談できる先輩が揃っていると思います。

土木職として、富士市を良くするために一緒に働きましょう。

経歴

- 入庁
2006 都市整備部 市街地整備課
(区画整理担当 技師補)
2007 (区画整理担当 技師)
2009 (区画整理担当 上席技師)
2014 建設部 河川課
(整備担当 主査)
2018 (維持担当 主査)
現職
2020 産業経済部 産業政策課
(港湾振興室 主幹)

富士早川都市基盤河川改修事業



田子の浦港全景



10 ベテラン土木技術職員の人と仕事

INTERVIEW 01

富士市役所の人と仕事

富士市役所で働く職員は、いま、どのような仕事や課題に取り組み、どのようなキャリアを積んでいるのかを紹介します。

職員紹介

土地区画整理整備業務

安全で快適な新しいまちづくり

花崎 哲也

都市整備部 新富士駅南整備課

工事担当 統括主幹



Tetsuya Hanazaki

現在の仕事

新富士駅南地区において、人の集散拠点としての都市機能強化や富士市及び岳南広域の玄関口に相応しい顔の実現を図るため、土地区画整理事業による基盤整備を行うと共に、駅前活性化に向けた土地の高度利用促進に、関係地権者と協同で取り組んでいます。

今までの思い出のある仕事

新富士駅の南口（約4ha）は、土地区画整理の事業計画によってその用途を商業地域として位置付けていますが、もともと商業施設のない平面駐車場が多く混在する新幹線駅前となっています。そのため、基盤整備後に駅前に相応しい新たな土地利用が図られるかは、土地所有者の意向に委ねざるを得ない状況にありました。そこで、関係地権者を対象に勉強会や検討会、先進都市への現地視察会等の企画、また、膝詰めによる個別ヒアリングなど、まちづくりに対する意識の醸成に努め、取組から4年目を迎えた一昨年、関係者協力のもと駅前の共同利用（高度利用）化について具体的な検討を行う地権者組織を立ち上げることが出来ました。

魅力と誇り

土木職は、専門性を活かした知識や技術から公共施設など、形が見える足跡を残すことが出来る職種であり、単にまちの基盤づくりに留まらず、様々な分野の仕事にも携わる機会があることから、本当の意味でまちづくりを実感できる職種と言えます。

みなさんへのメッセージ

土木職の仕事は、一般的に設計や積算、工事監理が主とわれがちですが、計画立案から維持管理まで一連の流れに携われることも行政の土木職員のやりがいの一つだと思います。皆さんもやりがいを見出し富士市のまちづくりの将来を一緒に担いましょう。

経歴

- 入庁
- 1993 建設部 道路建設課
(建設第1係 技師補)
- 1997 下水道部 下水道建設課
(工事担当 技師)
- 2003 建設部 河川課
(工事計画担当 上席技師)
- 2009 都市整備部 都市計画課
(公共交通推進担当 主査)
- 2012 (公共交通推進担当 主幹)
- 現職
- 2017 都市整備部
新富士駅南整備課
(工事担当 統括主幹)

新富士駅南地区土地区画整理事業



(地権者組織) 新富士駅南口駅前地区共同化検討協議会 / 第1回検討会の様子



INTERVIEW 02

富士市役所の人と仕事

富士市役所で働く職員は、いま、どのような仕事や課題に取り組み、どのようなキャリアを積んでいるのかを紹介します。

職員紹介

ものづくり産業の持続的な発展

井出 剛洋

産業交流部 産業政策課
課長



Takehiro Ide

現在の仕事

CNF（セルロースナノファイバー）実用化の推進や地場（紙・パルプ）産業振興、企業誘致・留置、新工業団地整備、田子の浦港の港湾整備・振興、ふるさと納税等の業務を行っています。

今までの思い出のある仕事

入庁以来、道路の整備、公共下水道の計画・設計・工事、都市計画、公共交通、市の最上位計画である総合計画の策定のほか、現在の仕事である産業政策など、幅広い分野に携わってきました。いずれもの業務も上手くいったこと・いかなかったことがあります。苦勞した分、思い出があります。一般的に土木業務は、比較的長期の事業が多いですが、計画策定や緊急的な修繕等は短期間で完了が必要なものもあります。私にとりまして思い出のある仕事は、富士市と富士川町の合併前までに必要であった都市計画の決定で、賛否両論がある中、多くの方の意見を聞いた上で調整し期限内に業務を遂行できたことです。

魅力と誇り

市役所の土木業務は、地域の魅力を引き出しながら「まち」を創り機能等を高めるものであり、地図に残る仕事です。もちろん苦勞はありますが、大きな視点でまちを考えることができ、他では得られない使命感や達成感を感じることができると思います。

みなさんへのメッセージ

市の土木業務は、計画から設計・工事・維持管理等があり、分野も道路・河川・公園等と幅広いですが、目的がはっきりしたやりがいのある仕事です。より多くの方が、富士市に住みたい・住み続けたいとなるよう、活力ある「まち」を創っていきましょう。

経歴

- 入庁
1994 建設部 道路建設課
（建設第1係 技師補）
1995 （建設第1係 技師）
1999 下水道部 建設課
2004 （工事係 上席技師）
2007 富士川町に出向

2008 都市整備部 都市計画課
（都市政策担当 主査）
2011 総務部 企画課
（都市活力再生室 主査）
2014 （企画課 主幹）
2017 （企画課 調整主幹）
2018 都市整備部 都市計画課
（都市政策担当 調整主幹）
2022 産業交流部 産業政策課
（CNF・産業戦略担当 調整主幹）
現職
2023 （産業政策課 課長）

富士山フロント工業団地



INTERVIEW 03

富士市役所の人と仕事

富士市役所で働く職員は、いま、どのような仕事や課題に取り組み、どのようなキャリアを積んでいるのかを紹介します。

職員紹介

みどり豊かな都市を創出する

勝亦 孝行

都市整備部 みどりの課
課長

Takayuki Katsumata



現在の仕事

富士山の豊富な自然と都市施設を互いに調和させながら、緑の基本計画の目標である『富士山のふもと 花と緑と水がおりなす憩いのまち』を実現させるため、都市公園の整備・維持管理のほか、家庭緑化の推進に関する各種の事業を進めています。

今までの思い出のある仕事

富士市役所に入庁して、最初の職場である「区画整理課」（現市街地整備課）で整備した歩道の修景工事です。賑わいの中央公園と文化の中心であるロゼシアター前交差点の歩道（北西部）を整備方針である「出会いの広場」をイメージして整備しました。歩道表面を多彩なタイルでデザインし、また街路樹の樹種選定や街路灯の配置など、当時は苦労しましたが、先輩方の協力や上司の指導をいただきながら設計し、無事に完成させることができました。今では沿道の街路樹も成長して、富士山の素晴らしい景観を演出し、本市を訪れる人々に感動を与える「出会いの広場」を創出できたことは、技術職員として自信と誇りになった仕事です。

魅力と誇り

道路は人と物流の循環に、河川は自然の恵みと安全を、暮らしを支える上下水道のほか、憩いやレクリエーション、景観や防災施設となる公園など、人の命を守り生活を豊かにする公共インフラを造り守る土木技術職は、誇りと使命感のある仕事です。

みなさんへのメッセージ

本市のまちづくりは、工業から環境、観光、そしてデジタルへ時代に合わせ変化させながら進めてきました。これからの富士市をみなさんの新しい感性でブラッシュアップさせながら、更なる高みに向けて発展させていけるよう、一緒に頑張りましょう。

経歴

- 入庁
- 1990 都市整備部 区画整理課
(工事係 技師補)
- 1994 下水道部 建設課
(工事係 技師)
- 2000 建設部 道路交通安全課
(道路維持担当 上席技師)
- 2005 商工農林部 林政課
(事業担当 主査)
- 2010 建設部 道路維持課
(安全施設舗装担当 主幹)
- 2014 都市整備部 みどりの課
(公園整備担当 主幹)
- 2016 (公園整備担当 統括主幹)
- 現職
- 2022 (みどりの課 課長)

ロゼシアター前交差点



INTERVIEW 04

富士市役所の人と仕事

富士市役所で働く職員は、いま、どのような仕事や課題に取り組み、どのようなキャリアを積んでいるのかを紹介します。

職員紹介

富士山のおいしい水を届け、水をきれいにして駿河湾へ返す

落合 知洋
上下水道部長



Tomohiro Ochiai

現在の仕事

将来にわたり良好な水環境を育み、快適な市民生活を確保するため、安全で安心できる水道水の持続的な供給に努めるとともに生活排水対策として公共下水道の整備推進と浄化槽の整備・転換を促進しています。

今までの思い出のある仕事

私は、土木技術職員として道路・河川・下水道・区画整理の現場を経験してきました。どの現場でも市民生活に密着したインフラの整備を担当してきましたが、中でも印象深い仕事は、入庁後最初に配属された道路建設課での生活道路の拡幅整備です。緊急車両が入れず、車のすれ違いも出来ないような狭い道路に地区住民の皆様の意見を聞いて、設計図を描き、現場を担当し無事完成した時には大きな達成感がありました。設計から用地交渉、施工管理まで先輩方の助けをもらいながら自分一人でもできた経験はその後の仕事に対する自信に繋がっています。

魅力と誇り

市民の皆様の生活に必要な不可欠で、日常的に最も利用されている上下水道や道路・水路・公園などを整備し、これらの施設を市民の皆様の生活に支障をきたすことが無いよう維持する仕事に携われることに、この上ない魅力と誇りを感じています。

みなさんへのメッセージ

自分の描いた図面通りに道路や河川が出来上がり、地域の皆様に利用されている姿を見ることが出来るのは、土木技術者冥利に尽きるものです。いっしょに富士市の輝く未来を拓いていきましょう。

経歴

- 入庁
- 1988 建設部 道路建設課
(建設第1係 技師補)
- 1993 下水道部 管理課
(排水設備係 技師)
- 1996 建設部 河川課
(工事計画係 技師)
- 2001 富士宮市に出向
- 2003 下水道部 建設課
(計画担当 主査)
- 2008 上下水道部 下水道建設課
(計画担当 主査)
- 2009 総務部 企画課
(企画課 主幹)
- 2013 (企画課 調整主幹)
- 2017 都市整備部
新富士駅南整備課
(新富士駅南整備課 課長)
- 2021 総務部 企画課
(企画課 課長)
- 現職
- 2023 上下水道部長



富士山とともに 輝く未来を拓くまち
SDGs 未来都市 富士市

■ワーキングの経緯

	月 日	内 容
第 1 回	令和 5 年 6 月 12 日	富士市土木技術職員を取り巻く現状と課題 富士市土木技術職員の人材育成の必要性 役割分担・今後の進め方
第 2 回	令和 5 年 6 月 27 日	目指すべき土木技術職員像 土木技術職員に求められる役割と能力
第 3 回	令和 5 年 7 月 12 日	目指すべき土木技術職員像 土木技術職員に求められる能力
		土木技術職員向けのアンケート（7/18～7/21）
第 4 回	令和 5 年 7 月 24 日	職員アンケート調査結果分析 目指すべき土木技術職員像、役割 資格取得の現状と助成制度の方向性 土木技術職の魅力
第 5 回	令和 5 年 8 月 17 日	中央病院副看護部長による講話（病院クリニカルラダー） 土木技術職のキャリアラダー
第 6 回	令和 5 年 9 月 6 日	土木技術職のキャリアラダー 建設産業の魅力発信
第 7 回	令和 5 年 9 月 21 日	土木技術職のキャリアラダー 人材育成のメニュー（資格取得） 建設産業の魅力発信
第 8 回	令和 5 年 10 月 17 日	土木技術職のキャリアラダー 人材育成のメニュー（研修計画）
第 9 回	令和 5 年 11 月 20 日	人材育成のメニュー（研修計画） 土木技術職員の人材確保
第 10 回	令和 5 年 12 月 13 日	人材育成のメニュー（研修計画の詳細） 土木技術職員の人材確保 職場環境の改善
第 11 回	令和 6 年 1 月 23 日	まとめ

■ S D T f (サステナブル ドボク チーム フジ) 名簿

所 属	職 名	氏 名	備 考
建設部	技監	中野 毅張	アドバイザー
建設部 建設総務課	参事	青島 貴伸	アドバイザー
産業交流部 産業政策課	主幹	小田桐 健	リーダー
建設部 河川課	主幹	中村 至克	
都市整備部 都市計画課	主査	石川 泰	
都市整備部 市街地整備課	主査	伊藤 淳	
上下水道部 下水道施設維持課	主査	本部 真吾	
建設部 建設総務課	主査	田中 敦規	
建設部 道路整備課	主査	和田 尚也	
都市整備部 みどりの課	主査	本岡 俊亮	
建設部 道路維持課	上席技師	深澤 彩	
上下水道部 下水道建設課	技師補	西村 真実	
上下水道部 水道工務課	技師補	吉田 凧沙	
総務部 人事課人材育成室	室長	藁科 讓	事務局
総務部 人事課人事担当	統括主幹	佐々 博彦	事務局
総務部 人事課人事担当	主幹	齋藤 祥代	事務局
総務部 人事課人事担当	主査	中村 崇人	事務局

(令和5年度の所属・職名)

富士市行政資料登録番号

R 5 - 5 5

富士市土木技術職員人材育成計画

発行 令和6年2月
発行者 富士市総務部人事課
所在地 〒417-8601
静岡県富士市永田町1丁目100番地
電話 0545-55-2714
F A X 0545-53-6669
E-mail jinji@div.city.fuji.shizuoka.jp
